

広報かのや 
Kanoya
KANOYA CITY PUBLIC RELATIONS

8
August
2017
No.279



特集

72年前の記憶 ～第五航空艦隊司令部～



今月のカバー

錦江湾とオーシャンカヤック

7月のマリンフェスタでのひとコマ。浜田海岸に並べられた黄色いオーシャンカヤックが、真夏の青い海と青い空によく引き立ちます。対岸に見える山は、薩摩富士とも呼ばれる開聞岳です。

目次 contents

- 03 明日への扉
萩原 千代 さん
- 04 特集
72年前の記憶 ～第五航空艦隊司令部～
- 08 街フォトスクラップ
- 10 3人の市出身者が世界で奮闘中！
- 14 大隅から日本と世界を語る
- 16 大隅でしか味わえない夏の思い出を！
- 18 情報掲示板
- 23 まちの保健室
- 24 市民のひろば
- 25 地域おこし協力隊かのや活動レポート、今月のプレゼント
- 26 スポットライト
- 27 大人の社会見学
浄福寺の小型阿弥陀如来尊像



統計情報

平成29年7月1日現在(前月比)

- ・人口／ 103,015人 (-26)
- ・男性／ 49,280人 (+10)
- ・女性／ 53,735人 (-36)
- ・世帯／ 45,474世帯 (+2)
- ・面積／ 448.33km²

市の花 ばら

フラウ・ホレ

真っ白な5弁咲きの花が株いっぱい咲きあふれ、葉は濃い緑色の照り葉で、非常に病気に強い。花名はグリム童話の「フラウ・ホレ(ホレおばさん)」に由来する。



鹿屋市広報

- 鹿屋市ホームページ
<http://www.e-kanoya.net/>
- 鹿屋市公式 facebook
<https://www.facebook.com/Kanoya.City>
- 鹿屋市ラジオ広報番組
FMかのや(77.2MHz)
(月～金曜日、8:05～と16:05～)



Rena Theater

映画情報

名探偵コナン から紅の恋文

くれない ラブレター



ファン待望の劇場版第21弾、その舞台は大阪・京都。炎に包まれる西の名探偵・服部平次とその幼馴染・遠山和葉の身に何かが起こる…2つの事件、2人の運命を紡ぐもの、それは「古からの恋の歌」。

◎上映時間(112分)

- ①10時～ ②13時～ ③16時～ ④19時～

◎鑑賞料

- 一般／1,800円 大学生／1,500円
- 高校生以下／1,000円 60歳以上／1,000円

◎リナシティかのや ☎0994-35-1001

※上映期間・時間・鑑賞料は変更する場合があります。
※特別割引券は、1枚につきお一人限りです。
また他の割引券との併用はできません。



割引券をお持ちの方は300円(高校生以下は200円)を割引します。
※60歳以上の人は割引対象外です。
特別割引券
名探偵コナン
から紅の恋文

No.33

明日への扉

早世の天才・フィルチュ その系譜を受け継いで

はぎわら ちよ
萩原 千代 さん



7月に40回目の節目を迎えた、ローズダイナーでのコンサート。客席との距離も近く、演奏の合間には各テーブルを回り、アットホームな雰囲気の中に笑顔があふれる。ローズダイナーでの次のコンサートは12月2日(土)の予定。

昭和54年東京都生まれ。東京音楽大学卒業後、元・ルーマニア国立交響楽団総監督のチーキー・ボルディジャー氏に師事し、ライフワークとなる作曲家カール・フィルチュの音楽と出会う。平成20年から、かのやばら園「ローズダイナー」で定期的にコンサートを開催。(38歳)

小さいころからピアノが好きで、東京音楽大学に進学し、ピアノを専門に学びました。そして、大学で師事していた先生の勧めでルーマニアに渡って、より専門的にピアノを学びながら、現地のオーケストラとの共演などの活動を行いました。

平成21年に、ルーマニアで開催されたピアノコンクールに出場したときに、私は、のちにライフワークとなるカール・フィルチュの音楽と出会いました。コンクールの課題曲だったフィルチュの曲を弾いて、美しく、自然で素直なメロディが心に残りました。そして、他の参加者が練習で弾いていたフィルチュの「舟歌」を聴いた私は、これまでの音楽活動で体感したさまざまな感情が一気にこみ上げてきて、気が付いたらフィルチュの虜とりこになっていました。

それまでは、自分の思い描く演奏ができないときに迷い悩むことも多かったのですが、フィルチュの音楽を演奏すると、「よくがんばったね」と、私の背中を優しく押してくれるような、そんな感覚を覚えたのです。この体験で、音楽と正面から向き合う決意を新たにしました。早世の天才・フィルチュ。15年に満たない生涯で残した曲はわずか20曲程度。でも、全て私にとっては宝物です。

このころは鹿屋に住んでいた時期で、平成20年から2年間居住しまし

た。「鹿屋ならではの音楽活動を」と考えて、歴史上の作曲家が書いた「野ばら」という曲を演奏する「世界の野ばら91曲全曲演奏」を開催しました。また、海上自衛隊第1航空隊の隊歌を作曲させていただきました。

中でも、ローズダイナーでの定期的なコンサートは、私の第2のライフワークになりつつあります。ローズダイナーでのコンサートは、お客様との距離がとても近く、演奏の合間には、お客様のテーブルを回って直接お話できるので、私もとても楽しみにしています。ほぼ毎回お越しくださるお客様もいて、常連さんに会う楽しみと、「今度はどんな曲をどう紹介しようか」という、ピアノとしての矜持きんぢは、私自身の成長にもつながっています。

平成28年6月には、日本で初めてフィルチュの音楽のCDを作成しました。また、11月には2枚目のCD録音を予定しています。そして、鹿屋でのコンサートは、50回を目指してプランを立てています。フィルチュの系譜を受け継ぐこと、鹿屋でのコンサートを続けること。この2つをライフワークに、今後も音楽活動を続けていきたいです。

**FMかのや** (77.2MHz)
8月28日(月) 9時5分から
萩原 千代さんが出演
(予定)



①



②



③



第五航空艦隊司令長官
宇垣 纏 中将
(明治23年～昭和20年)
※鹿屋航空基地史料館提供

第五航空艦隊司令部の地下壕内 (P 7に見取り図記載) ①司令長官宇垣纏中將らが特攻作戦を計画した参謀室跡 ②電信室跡
③戦時に②と同じ構図で撮影された電信室の写真 (昭和 20 年 3 月 28 日発行「写真週報第 365 号」)
※地下壕は崩落する危険性があり、現在は立ち入りできません。

72年前の記憶

～第五航空艦隊司令部～

昭和20年2月10日、沖縄戦の特攻作戦の前線基地として、陸海軍の全航空部隊を統合した「第五航空艦隊司令部(司令長官・宇垣纏^{うがきまどめ}中将)」が海軍鹿屋航空基地に設置されました。

このような中、米軍による爆撃の避難場所として、市内には数多くの防空壕が設置され、軍事施設も次第に地上から地下へと機能が移設されていきました。

司令部においても同様、同年3月18日の空襲で鹿屋航空基地の地上の建造物が壊滅状態に陥ってから、新生町の崖の山腹に密かに掘られていた地下壕の中に徐々に移されました。以降、司令部が十分に移転する同年7月下旬まで、特攻の出撃命令はこの壕の中から発信されました。

司令長官の宇垣中将が、かつて特攻作戦の総指揮を執った地下壕。地下壕内は崩落の危険性があることから、現在は立ち入りできませんが、特攻出撃命令の舞台となったこの歴史的な地を72年前の記憶とともに探ります。

問市ふるさとPR課(2階) ☎0994-31-1121

建設を指揮した地下壕の中で

死地に赴く特攻隊員に手を合わせた

僅か4日違いで海軍へ

旧制鹿屋中学校(現鹿屋高校)を卒業後は陸軍に入隊することになっていたのですが、入隊4日前に海軍施設部に合格したため、18歳で海軍に入りました。佐世保で建築技工士として勉学の傍ら、訓練をみっちり受けました。1年後には武官転用試験を受けて、下士官となりました。

司令部の壕造りを指揮

昭和20年1月、故郷・鹿屋へまさかの赴任。配属された部隊は軍人が隊長以下6人のみで、あとは約600人の工員でした。



死んだ時に飾る物が無いから、絵が得意な部下に描いてもらった。若き日の下本地光二さん(絵)

た。工員の大半は朝鮮半島出身者で、3つの中隊に分かれ、壕造りや採石・採砂、基地滑走路の補修等に当たりました。

私が中隊長として任されたのは地下壕造り。赴任当初は、これが第五航空艦隊の司令部の壕になるということは知りませんでした。

隊長から「シラスは崩れやすいから掘るのは難しい」と言われましたが、「私はシラス台地で育った男だから、小さい頃から扱いは慣れている」と答えたのを記憶しています。

地下壕造りは工員約200人が3交代制で24時間行われる突貫工事。しかも終わりの見えない工事でした。工員は一生懸命に働いていましたが、重労働であつたため、少しずつ目標を決めて、達成したらその都度休みを入れるように心掛けました。

私たちは地下壕近くの民家を接収して寝泊りしていたのに対し、工員は郷之原の宿舎から現場を往復する毎日。工員の外出

外泊は原則禁止でしたが、独断で許可証を発行し、息抜きをさせることもありました。工員との信頼関係を保つのも、工事を進める上で大事なことでした。

特攻隊員の言葉

工事がまだ半分も進んでいない頃から、第五航空艦隊司令部の機能が地上から徐々に地下壕へと移ってきて、軍人と高等女学校挺身隊員らが出入りするようになりまし。

地下壕の近くに三角兵舎もあり、出撃前の特攻隊員も多く見ました。彼らと言葉を交わすことはほとんど無かつたのですが、ある時、名も知らぬ特攻隊員が、「この戦は勝ちっこないが、君は命を大事にして長生きしなさい」と私に言い残して、飛んでいきました。地下壕の中で涙をこらえながら、ただただ手を合わせて拝むしかありませんでした。

思い出す、ある旧友のこと

特攻隊員のことを考えると、旧制中学時代の旧友のことも思い出します。校内に貼り出された柔道の昇段試験結果に自分らの名前が載っていないので張り紙をはいで肝属川に投げ捨てたため、謹慎させられた2人の旧友がいました。謹慎が癒にさわったのか、2人は退学してすぐに航空兵になりましたが、その後、ともに台湾沖で亡くなったと聞きました。2人とも頭も体格も良い男でした。

命からがら故郷へ

終戦時は人吉にいました。混乱の中、駅は列車を待つ人でご

た返し、列車の屋根にも無数の人々がしがみ付いていました。私は目の前に止まった郵便車両に死にもぐるいで乗り込みました。車両では、あの混乱の中にあつても、2人の職員が郵便物の仕分け作業をしており、この時はさすがに頭が下がる思いでした。私は車中で難を逃れ、故郷に生きて帰ることができましたが、列車の屋根にしがみ付いていた多くの人々は、トンネルで命を失ったと思います。

私はあの悲惨な戦争から生き残った身。生き延びた以上、失った多くの命のためにも、戦争中の体験を伝えることが、私の使命だと思っています。



元海軍2等技術兵曹 下本地光二さん(91歳)

「戦争中はいろいろなことがあり過ぎた。見たくないものも見てきた。戦争は絶対にしてはならない」と語る

地下壕に司令部ごと移転

そこで特攻隊の出撃命令を伝達した

高女から学徒通信隊へ

戦局が険しさを増す昭和19年9月、旧制鹿屋高等女学校（現鹿屋高校）に在学していた私は、学徒動員で海軍鹿屋航空基地の学徒通信隊に入隊しました。16歳の時です。

入隊に際しては、体格や聴力の検査はもちろん、軍の機密事項を扱う部署であったため、家庭環境などが細かく調べられ、鹿屋高等女学校から25人が選抜されました。このほか高山・末吉・志布志の各高等女学校からも集められていました。

重要な任務

通信業務は基地内のビルの一室に設けられた作戦電話室で行われ、海軍省からの電話の内容を書きとめ参謀室に伝えたり、参謀が立てた作戦を申良や国分、出水などの各航空隊へ伝えたりする重要な任務を負っていました。秘密を守ることも徹底

されていました。

通信隊の勤務と生活

隊員は24時間3交代制の勤務で、共同生活を行っていました。入隊して1か月は板張りの三角兵舎に寝泊りし、その後は軍が借り上げた大きな民家に皆で住んで、毎日職場まで往復しました。月に1度実家に帰宅することができましたが、勤務を終えた後に1晩泊まって翌朝すぐに出て行くので、家族との会話はほとんどできませんでした。職場での服装は長袖のシャツ

とモンペで、3着を着回しました。白の長袖シャツも持っていました。外に出ると目立つからと、のちにカーキ色に染められました。

空襲を期に司令部ごと壕へ

昭和20年2月には、鹿屋航空基地に第五航空艦隊の司令部が置かれ、私たちも司令部配属に。そして同年3月頃から、米軍による鹿屋市への空襲が始まると、司令部ごと基地近くの山に掘られた地下壕へ移ることになり、以降、私たちは地下壕の中で通信業務に当たりました。

特攻隊の出撃命令を伝える

戦況悪化に伴い、特攻隊の出撃命令が増え、これを各航空隊に伝えることが、私たちの主な業務となりました。特攻隊の出撃命令は、「明日、黎明攻撃」というふうに伝えていました。

私たちは皆、「お国のために」と一生懸命に働きましたが、私た



元学徒通信隊
岩重 ナツエ さん(89歳)

「終戦まで必死に働いた人がいるからこそ、今の日本があるということも忘れないでほしい」と語る

ちと同じく、19歳の年の特攻隊員もいて、「かわいそうだね」と通信隊仲間ですすこともありました。

ある時、出撃前の特攻隊員から「あそこにいる女性に渡してほしい」と手紙を渡され、顔見知りでない電話交換手に、緊張しながら、その手紙を届けたことがありました。最期に何をしたらためたのでしょうか。

終戦・解散

7月下旬に司令部が大分に移った後も、鹿屋高等女学校出身の隊員だけは、引き続き地下壕の中で任務に当たっていました。その後すぐに終戦となり解散。「米軍が上陸したら女性や子どもは捕らえられる」との連絡が入ったため、皆急いで家に帰りました。

家に帰ると、父が外で待つていました。近所の多くの人たちが、山奥の杉林に逃げていたことも覚えていきます。

仲間たちと続く友情

通信隊は厳しい規律の中での業務でしたが、皆本当に仲良しでした。地元に残っている旧友たちで「すみれ会」と称して、戦後まもない頃から今日まで、戦後まもない頃から今日までずっと、月に1度集まって顔を合わせています。人数は年々減ってきていますが、皆、この集まりを楽しみにしています。

通信隊での体験は決して忘れられません。私たちは命を大切にしなければなりません。

黎明II夜明けのこと



写真館で記念撮影する通信隊の仲良しメンバー（後列左が岩重ナツエさん）

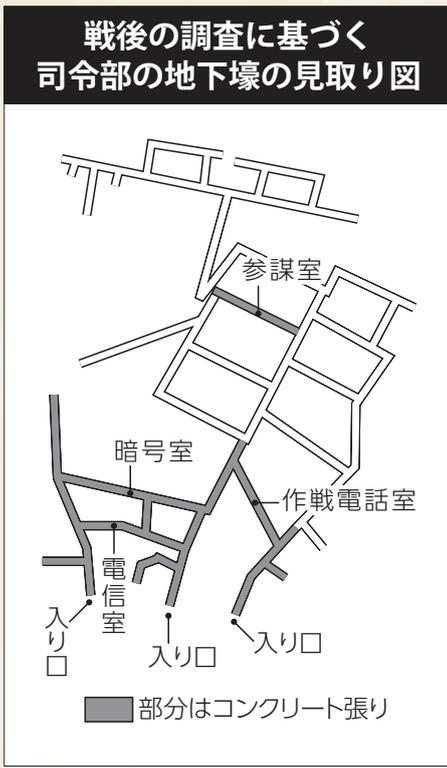
地下にあった総延長700m以上の軍事要塞

昭和20年2月、組織的特攻作戦で起死回生を図るとして、海軍鹿屋航空基地に「第五航空艦隊」の司令部が置かれました。その一方で、新生町には既に巨大な地下壕建設が極秘裏に進められており、空襲が激化した3月になると、建設半ばながら徐々に司令部はこの地下壕に移転していきました。

地下壕は、シラス台地の約20m以上の地下にあって、コンクリート張りや素彫りの大小の通路が縦横に走り、総延長は700m以上に及びました。参謀室、作戦電話室、電信室、暗号室等はコンクリートで覆われ、箇所によっては、高さ約5

m、幅約5mという所も。出入り口は数か所あり、地上の基地からも斜めに掘られた通路で結ばれていました。

この地下壕から、宇垣纏司令官らによる特攻機発進計画が練られ、鹿屋航空基地をはじめ、指揮下の串良・国分・出水などの各基地に出撃命令が出されたのです。



壁に釘などを刺せるように張られた参謀室跡の壁面の木レンガ



暗号室跡



作戦電話室と参謀室をつなぐ通路

作家・山岡荘八は昭和20年4月、海軍報道班員として鹿屋に着任しました。戦後、朝日新聞紙上で発表した「最後の従軍」という手記に、次の記載があります。

「ようやく鹿屋に着くと、そこは完全な戦場だった。格納庫という格納庫は落弾や掃射のあとがあり、滑走路を除いてほとんど飛行場は穴だらけであった。(中略)息のつまる思いで、深い壕内へ案内されて配属を決められた。第五航空艦隊(司令長官宇垣纏中将)付」。

司令部が置かれた地下壕で報道任務に当たった山岡荘八

理は任せるからと、突然封筒を手渡されます。そして、「(その若者が乗る特攻機が)突入したという無電が壕内の通信所へはいつて来てから」、山岡は封筒の中を見ます。すると、中に入っていたのは遺書ではなく、113円20銭という、少尉1か月分の給料に近い現金でした。このことに山岡は「うろたえた」と記しています。

山岡は手記の最後に、鹿屋での出来事を「私の見聞の限りではみじんもウソのなかつた世界……それだけに私もまた生涯その影響の外で生きようとは思っていない」と結んでいます。



山岡荘八が揮毫した「桜花の碑」(野里町)

作家・山岡 荘八

明治40年新潟県生まれ。昭和17年から従軍作家として各戦線で活動。昭和20年、作家・川端康成とともに鹿屋に着任。戦後に発表した『徳川家康』はベストセラーとなった。昭和53年死去。

市ふるさとPR課では戦争体験談を随時募集しています。貴重な体験談を語り継いでいくために、ぜひお寄せください。

イベント



美の競演に
酔いしれる

7月9日、市中央公民館で、「第1回ビューティー講座シニアファッションショー」が行われました。これは、60歳以上の働く意欲がある女性を対象に、鹿屋市シルバー人材センターが初めて開催したもの。ヘアメイク・ウォーキング講座に続き、一般モデル7人によるファッションショーでは、その美しさに参加者が歓声を上げて楽しんでいました。

スポーツ



流選手の迫力
プレーに歓声

7月7日から9日まで、串良平和アリーナで、「2017V・サマーリーグ女子西部大会」が開催され、10チームが熱戦を繰り広げました。これは若手選手の強化・育成などを目的として開催されているもの。この日は日頃見られない一流選手の試合に、会場は熱気に包まれていました。また試合後は子どもたちへのバレーボール教室も行われました。

環境



美しい自然を
未来に残す

7月1日、古江～高須・浜田海岸で「錦江湾クリーンアップ作戦」が実施されました。これは、錦江湾の美しい自然を未来に残すため、錦江湾沿岸の自治体で行われているもの。この日は、両地区の町内会や漁業関係者、海上自衛隊鹿屋航空基地や鹿屋体育大学などから約500人が参加。延べ2.9kmの海岸を清掃し、約2.7トンのごみを回収しました。

「街フォトスクラップ」

みんなの
イマをパシャ!!



イベント



ふるさと納税活用ライブを初開催



7月8日、市文化会館で、かのやばら大使「C & K」と市がタイアップしたライブが開催されました。このライブは、チケットやグッズを「ふるさと納税」の返礼品とすることにより実現したもの。県内外から集まった約1,000人の観客は、「C & K」の熱いパフォーマンスに魅了されるとともにリズムに合わせて踊るなど、会場は一体感に包まれていました。

イベント



海の魅力
1日満喫

7月16日、高須・浜田海岸で、「かのやマリンフェスタ2017」が開催されました。これは鹿屋の夏の海を満喫できるイベントとして、毎年開催されているもの。この日は天候に恵まれ、バナナボートやオーシャンカヤックなどのマリンスポーツ、綱引きやビーチバレーなどが行われ、多くの人が思い思いに夏の海の魅力を楽しんでいました。

教育



笑

いで子どもの
発想力アップ

7月11日・12日の2日間、花岡小・中学校など市内5小・中学校で、松竹芸能の漫才コンビ「セバスチャン」による「笑育授業」が行われました。これは、「笑い」による子どものコミュニケーション力の育成を目的としたもの。生徒が考えた漫才の回答に、教室は大きな笑いに包まれました。10月には生徒による漫才披露も予定されています。

保健福祉



楽

しみながら
健康を考える

7月2日、県健康増進センターで「県プラ開設イベント」&「鹿屋市健康まつり」が同時開催されました。これは、市民の健康意識向上などを目的に行われたもの。この日は、健康度や虫歯危険度などの測定、ジム・プールでの特別レッスンなどが行われ、参加者は汗を流したり数値をチェックしたりしながら、健康の大切さを再認識していました。

観光



荒

平天神に願いを
かける繪馬

7月12日、荒平天神で、新商品の繪馬などの祈願祭が行われました。これは、鹿屋市観光協会が天神町内会と共同企画し、障がい者就労支援事業所eすぺーすが製作したものの。和紙でできた繪馬は、菅原道真公ゆかりの梅の花をかたどっており、市観光物産総合センターなどで販売されています。今後、観光客や受験生などへの展開が期待されます。

農業



新

規就農者に
開始資金贈呈

7月18日、市役所で「就農開始資金贈呈式」が行われました。これは市の農業研修事業を活用して独立就農した新規就農者に対し贈呈されるもので、今回は7月から就農した増田剛さん(串良町細山田在住)に贈られました。増田さんは10年以上の会社員生活を辞め、昨年8月から約1年間研修を受講。今後、ピーマン農家として活躍が期待されます。

地域



ま

ちと川を自分たち
できれいに

7月14日、串良町岡崎の串良川流域で、「第21回串良川クリーン作戦」が実施されました。これは、自分たちが住むまちと川を自分たちできれいにしようと、かのや市商工会、東串良町商工会の共催で、地域住民や事業所などが毎年行っているもの。約200人の参加者は汗を流しながら、串良橋から堅田橋の間でゴミ回収や除草作業などを行いました。

地域



明

るい社会の
実現に向けて

7月3日、市役所市民ホールで「第67回社会を明るくする運動」の出発式が行われました。これは、「社会を明るくする運動」強調月間にあわせて実施されたもの。この日は、内閣総理大臣及び県知事のメッセージ伝達に続いて、保護司会鹿屋支部及び更生保護女性会のメンバーが、犯罪や非行の無い明るい社会の実現に向けた啓発活動を行いました。



3人の市出身者が 世界で奮闘中!



青年海外協力隊は、独立行政法人国際協力機構
ジャパン インターナショナル コーポレーション エージェンシー (通称「JICA」)
が昭和40年から行っている海外ボランティア制度のことです。

「自分の持っている技術や経験を生かしてみたい」と考える、20歳から39歳までの人を、アジア・アフリカ・中南米・オセアニア・中東地域の開発途上国に2年間派遣し、現地の人々と同じ言葉話し、ともに生活・協働しながら、派遣先の国づくりのために活動しています。

活動分野は、コンピュータ技術、小学校教育、理科教育、野菜栽培、看護師、感染症・エイズ対策、障がい者・児童支援、自動車整備、電気通信、品質管理、コミュニティ開発、青少年活動、スポーツ全般など、120以上の多岐にわたります。

4月末現在で、42,599人が88か国で活動してきたほか、現在は、1,855人が69か国で活動しています。鹿屋市からは、これまで34人が26か国で活動し、現在は若松容子さん、盛重洋志さん、下道真人さんの3人が奮闘中です。

今後、世界の人口は増加することが予想されており、それに伴い、海外での国際協力・国際貢献の機会が増えてきます。文化や言葉などの違いがある中で、3人の青年海外協力隊員が、現地の人と一緒に課題を解決し、前向きに過ごしている様子を、メッセージや写真を通して紹介します。

なお、青年海外協力隊に興味のある人は、JICAデスク鹿屋島(☎099-221-6624)までお問い合わせください。

問 市地域活力推進課(3階) ☎0994-31-1147





わかまつ ようこ 若松 容子 隊員 (32歳)

(派遣先：ザンビア共和国)



大学院卒業後、食品メーカーに就職し、技術職として5年製造・製品開発に関わる。平成27年9月から青年海外協力隊員として、ザンビア共和国で活動開始。食品メーカー技術職としての経験を生かし、栄養指導改善や収入向上につながる商品開発や技術開発などをサポート。今年12月まで活動予定。



▲日本のお菓子「かりんとう」のつくり方を教える若松さん(左写真・中央)。右写真は、収入を得るための販売用に袋詰めされたかりんとう

応募のきっかけは

就職活動を通じて、飢餓、貧困、紛争という世界の開発途上国が抱える様々な問題に関心を持つようになりました。そして何よりも食えることが好きだった私は、自分の仕事が「誰もが不自由なく食を享受できる社会」につながるものであつて欲しいと思ひ、食品会社へ入社しました。技術開発職として約5年間勤務したあと、自分の思いを実現するために、青年海外協力隊への参加を決意しました。

日本との違いは感じたことはありますか

活動開始当初は、参加者の女性たちが時間を守らないことに腹を立てていました。ですが、現地の女性たちの中には、活動場所から7kmも離れた険しい山道を徒歩で片道3時間かけて来てくれる人もいて、それを知ったときは、ザンビアの女性は、働き者だと思いました。
洗濯は家族全員分の衣類を全て手洗い、調理は火おこしからです。それ以来、自分の尺度で物事を測ろうとせず、相手ができるような環境にあるのかということも考えるようになりました。

活動の中で安らぎはありますか

私の家には水道が無く、夕方に井戸水をくみに行くことが日課となっており、近所の子どもたちも水くみを手伝ってくれます。一度、お礼にお菓子をあげたところ、毎日のようにやってくるようになりました。水くみを手伝った後、モジモジしながら照れくさそうにお菓子をもらえるのを待っている様子は、何とも言えずいじらしくて可愛いです。



▲水くみの様子。年齢や性別を問わず、一生懸命働く

子どもたちとのやり取りは、私にとって一日の仕事終わりの安らぎの時間となっています。

若い人に向けてメッセージをお願いします

これまでの人生、ザンビアでの活動を通して、「どのような道でも最善を尽くせば必ず道は

拓ける」ということを学びました。若い皆さんには、自分に納得のいく人生を歩んでいってほしいです。人生は一度きりですからね。



▲食品を虫や動物などから守るために「食品乾燥ネット」をみんなで作る

INFORMATION

ザンビア共和国

◎国旗

- ◎面積=約752,610km² (日本の約2倍)
- ◎人口=約1,621万人 (日本の約0.13倍)
- ◎首都=ルサカ
- ◎民族=トンガ系、ニャンジャ系、ベンバ系等73部族
- ◎言語=英語、ベンバ語、ニャンジャ語、トンガ語
- 鹿屋市からルサカまでの直線距離=約12,100km
- 主な産業=トウモロコシ、砂糖、タバコ、綿花、銅、観光
- その他=アフリカ大陸南部に位置する内陸国。乾季と雨季に分かれており、アフリカの中でも比較的穏やかな気候で住みやすい

※地図、国旗、◎の項目については、外務省ホームページから引用



もりしげ ようじ 盛重 洋志 隊員 (40歳)

(派遣先：ドミニカ共和国)



高等専門学校卒業後、関東実業団バスケットボール1部リーグで2年間プレー後、県教職員として勤務。平成28年7月から青年海外協力隊員として、ドミニカ共和国で活動開始。バスケットボールの経験を生かし、スポーツ普及や、スポーツを通じた日本独自の「しつけ」の普及に邁進。平成30年3月まで活動予定。

応募のきっかけは

「苦難や未知の世界、新しい世界に飛び込む事が好きだから」です。新しい自分の発見、そして自分らしさを発揮する場面もあり、またそうでない状況で自分の足りないところに直面した時、考え、悩み苦しみ、たくさんの出会いもあり、そして周りに助けられ、結局何とかなるといふそんなプロセスが私の生き甲斐でもあり人生なのかもしれません。

主な活動内容を教えてください

私は、教育省管轄の青少年体育能力育成センターに所属し、クラブに通う子どもたちへのバスケットボール指導や、日本の小・中学校に当たる学校で、体育の先生の補助をしています。最近では、バスケットボールの練習内容そのものの情報は、インターネットなどで時間や場所に関係なく入手できるので、ほとんど教えることはありません。しかし、日本の学校体育のように、体操やストレッチなど、運動前に体をほぐす習慣が無く、運動が苦手だったり、体の柔軟性に乏しかったりする子どもたち

が、日本より多いと感じています。

そのため、活動では、そのような不足していると感じる部分を補う内容を取り入れています。



▲競技だけではなく、体の動かし方を基本から教える

活動で気をつけていることは何ですか

本務である、バスケットボールを中心としたスポーツ教育以外に、日本の独特な教育である掃除や給食の時間などについて紹介しています。幼児期に身につけたほうが良い「しつけ」の必要性を説明し、今後のドミニカ共和国を担っていく子どもたちのしつけ教育のきっかけになれるよう取り組んでいます。

「郷に入っては郷に従え」ということわざはしっかりと心に留めて来たつもりでしたが、文化の違いや習慣の違いに戸惑い、ストレスを感じることも多々あります。

例えば、公共施設内での、日本と言う「マナー」はここにはありません。また、時間の約束はあつてないようなものです。



▲体育の授業での「整列」。日本ではよく見かける光景だが、ドミニカではとても珍しい

しかし、今を楽しく過ごし、誰でも仲良くなり、そして何よりも家族を大切にしている国民性にとっても感動しています。

若い人に向けてメッセージをお願いします

国際交流は、視野を広げるだけでなく客観的に日本を、そして日本人を見るときにも良い機会です。「教育とは何なのか」、「豊かな環境とは幸せなのか」、「色々な価値観があつていいのはいか」など、それぞれ受け止め方は違っていても、何かしら考えさせられるすばらしい体験になると思います。

INFORMATION

ドミニカ共和国

◎国旗



- ◎面積＝約48,442km² (日本の約0.13倍)
 - ◎人口＝約1,053万人 (日本の約0.08倍)
 - ◎首都＝サントドミンゴ
 - ◎民族＝混血73%、ヨーロッパ系16%、アフリカ系11%
 - ◎言語＝スペイン語
 - 鹿屋市からサントドミンゴまでの直線距離＝約14,100km
 - 主な産業＝観光業、農業、繊維加工
 - その他＝北アメリカ大陸と南アメリカ大陸の間のカリブ海に位置する国。観光地として世界的に著名で、「カリブ海に浮かぶ楽園の島」と言われる
- ※地図、国旗、◎の項目については、外務省ホームページから引用



しもみちまなと 下道 真人 隊員 (30歳)

(派遣先：東ティモール民主共和国)



大学卒業後、運動機能の改善・維持を手助けする理学療法士として勤務。
1月から青年海外協力隊員として、東ティモール民主共和国で活動開始。理学療法士としての経験を生かし、リハビリテーションや運動機能回復などの技術普及に尽力。平成31年1月まで活動予定。

応募のきっかけは

大学の頃、青年海外協力隊 O Bの先生の講義を聞いた時、「かつこいい、楽しそう」と思いました。その後フィリピンの児童養護施設に滞在中、人がとても優しく接してくれた一方で、収入が少なく子どもが学校に行けず、働かなければならない現状を目の当たりにしました。帰国後、「かつこいい、楽しそう」が「何かできることはないのか」に変わったことが応募したきっかけです。

主な活動内容を教えてください

医療関係の施設で、患者へのリハビリテーション(以下リハビリ)と、一緒に活動するスタッフへ、リハビリの知識と技術を教える講習会を行っています。患者の年齢はばらばらですが、0歳から19歳までの子どもが多いです。
施設外では、CBR(地域にあるリハビリ施設)のスタッフとともに地域や学校へ赴き、「障がいとは何なのか」という講座を実施しています。
その中で、私は病気やリハビリの重要性を説明しています。

現在、日本には10万人以上の理学療法士が働いていますが、東ティモール国内には10人もいないことから、リハビリ等の技術が普及していません。

少しでも多くの人にリハビリを紹介することで、普及が進むとともに理学療法士を目指す人が増えてくれたらと願いながら活動しています。



▲下道さんが教えるリハビリ技術を現地の理学療法士が実践

活動で感動した出来事がありますか

最初は、患者の症状など、必要なことを言葉でうまく伝えられず、同僚や患者に申し訳なく思い、同時に悔しい思いもたくさんしました。

そんな中、別れ際に「アミコンテンテイ(私たちは幸せだ!)」とテトゥン語で言われ、患者や家族が泣いて喜んでくれたことがありました。
リハビリを通して、言葉で伝え

られない想いを伝えられたと思えた瞬間、ここでの理学療法士としてのやりがいを感じました。



▲子どもの症状や必要なリハビリ内容を説明

若い人に向けてメッセージをお願いします

海外の人や文化に触れることで新しい発見がたくさんできます。日本の「当たり前」が海外で

はそうではなかったり、また逆もあります。将来どんな大人になりたいか、「自分は海外の生活の方が合っているかも」など、意外な発見もあるかもしれません。ぜひ多くの文化に触れて、なりたい自分を探してみてください。



▲「リハビリが東ティモールに広がれば」と話す下道さん(右から2人目)

INFORMATION

東ティモール民主共和国

◎国旗



- ◎面積=約14,900km² (日本の約0.04倍)
 - ◎人口=約118万人 (日本の約0.01倍)
 - ◎首都=ディリ
 - ◎民族=メラネシア系、マレー系、中華系、ポルトガル系等
 - ◎言語=テトゥン語、ポルトガル語、インドネシア語、英語等
 - 鹿屋市からディリまでの直線距離=約4,500km
 - 主な産業=米、トウモロコシ、ココナッツ、コーヒー
 - その他=東南アジア、インドネシアの近くに位置し、平成14年5月に独立。ポルトガル語を公用語とする国で構成される「ポルトガル語諸国共同体」に加盟
- ※地図、国旗、◎の項目については、外務省ホームページから引用



大隅から日本と世界を語る

7月5日、市役所で「外国人市民による弁論大会 Kanoya・Tamunizu」が開催されました。これは、鹿屋市及び垂水市に在住・通勤・通学などする外国人が弁士になり、異文化の理解や多文化共生の輪を広げることを目的に、大隅半島で初めて行われたもの。8つの国・地域の14人の弁士が、大隅で感じたことなどを日本語で発表し、各賞と大隅地域の企業の協賛による副賞を受賞しました。今回は、最優秀賞と優秀賞に輝いた3人の弁論を紹介します。(一部要約。全参加者の全文は市ホームページに掲載) 〇市地域活力推進課(3階) ☎0994311147

最優秀賞

「鹿屋は田舎じゃないが、田舎です」



キム ゴン東さん
韓国・鹿屋体育大学
留学生

こんにちは、私はキムゴンドンと申します。今日の日本語スピーチ大会に参加することができて光栄です。今日私が準備したスピーチのタイトルは「鹿屋は田舎ではないが、田舎です。」少し変なタイトルでしょうか？でも私はこのタイトルが私が鹿屋で感じたことをもつともよく表現したタイトルだと思いました。私がここに来てからもう3か月ぐらいの時間が過ぎました。今まで本当に様々な人に会いました。会った人のほとんどは私に「鹿屋は田舎なので本当に不便でしょう？」というも私に聞きました。私はその言葉に同意

できませんでした。

私は鹿屋に何がなくて不便かな？って考えてみました。まずここには私が住む家があり、具合が悪い時は行ける病院があり、お腹が空いた時にはたくさんのおいしい食堂があり、友達と遊びたい時は、カフェ、飲み屋、カラオケ、ボウリング場、卓球する所そして、大きなパチンコもたくさんあります。特に私はサッカーが好きで今は鹿屋高校の体育館という立派な空間で社会人のサッカークラブで活動中です。また、私は韓国語に興味がある方に韓国語を教えているバイトとしては、とても感謝しているバイトもあるところです。

このようなことから、鹿屋は決して田舎ではないと私は自信を持って言いたいです。しかし、鹿屋はやはり、田舎の部分もあります。ここは海と山などの大自然があつて、田舎だからできる自然ライフを楽しむことができます。地域の方は私たちにいつも手作りのおいしい食べ物をくださった

り、温かい心と配慮があります。

もちろん、不便な点はあると思います。でも私にとっては、鹿屋はどこよりも素晴らしい街で、幸せな思い出ができる場所だと思います。この幸せな心を持ってさつきも言いましたが私はサッカーが好きで交換学生期間が終わった後また、日本に帰ってリーグチームの球団職員として就職も挑戦してみるつもりです。私がこんなに適応できるように手伝ってくださいました人たちに今日のスピーチを通じて、感謝の気持ちを伝えたくかったです。聞いていただきまして、ありがとうございます。



▲一緒に活動するサッカークラブのメンバー (鹿屋高校体育館にて)

優秀賞

「ずっしゅんから」



カク ショウジュウ
郭 述柔さん
台湾・鹿屋体育大学
留学生

留 学する前に鹿屋体育大
学に野球部があることを
知っていました。マネージャー
になれるとは思わなかったで
す。ですが、監督は私のことを
聞き、優しくぜひ入ってください
と言ってくださいました。最初の
3か月は大変でした。私はいつ
も選手たちと同じ練習に行つた
り、部費を払ったり、ユニホー
ムを買ったりしているのに、紹
介されませんでした。その時は
本当に悲しくて、やめたかつた
です。ところが、やはりみんな
のことが大好きです。みんなの
笑顔をもっと見たいです。みん
なを応援してあげたいです。マ
ネージャーを続けられるのは、
この気持ちのおかげです。

次のバッターも。最後の日みんな泣いていました。「カクちゃん、ありがとね。日本に来てくれて」キャプテンは相変わらず優しく言うてくれました。その日の光景、みんなの笑顔と涙、私は一生忘れません。



▲鹿屋体育大学野球部の選手との
出合いは、一生の宝物

自分の人生の道で歩き続けま
す。別れを繰り返すことは人生
の過程です。人生はまるでバス
のようなものだと思います。
このバス停で誰か降りて、
次のバス停に着いたら、また誰
か乗ってください。なので、ど
れだけ悲しくても立ち止まっ
てはいけません。進もう。彼らに
会ったのは奇跡だと私はずっ
と思っています。私のことを忘れ
ないでください。この1年間一
緒に過ごした日々、私も忘れま
せん。また、会おう。その時、
自分の夢が叶うかどうか、教え
てくれませんか？

優秀賞

「第二の故郷」



ユエ スーフェン
岳 淑芬さん
中国・製造販売業

私 と同年代のほとんどの中
国人はまさに日本のアニ
メを楽しみながら大人になつた
と思います。しかし、アニメの
中に描いた日本は想像の世界で
留まり、いつか自分の目で確か
めてみたいになりました。

2007年の12月に鹿屋市に
来て、3年間の実習生活が始ま
りました。鹿屋に来た時、日本
語がほとんどしゃべれなく、不
安もあつたけど、環境に恵まれ
て、社長と奥さんは自分のこと
を娘のように優しく可愛がって
くれました。日本語能力試験1
級にも合格し、とても充実した
幸せな3年間でした。



▲貿易に携わって、日本と
中国の架け橋を目指す

他にも11人の参加者がそれぞれの視点で大隅・日本・世界を語り、各賞を受賞しました。氏名・出身地とあわせて紹介します。

INFORMATION

◎鹿屋市長賞

チャーリンクルーズ
Charlene Cruz さん
(フィリピン・高校生)

◎垂水市長賞

パストロロ ジューン マリー オリエグ
Pastolero Dune Marie Ollegue さん
(フィリピン・介護福祉士)

◎鹿屋警察署長賞

グエン ティゴック ジャウ
Nguyen Thi Ngoc Giau さん
(ベトナム・技能実習生)

◎鹿屋市国際交流協会賞

ガミト ジョアナ マリー
Gamit Joana Marie さん
(フィリピン・技能実習生)

◎奨励賞(7人)

ヴィオレヌルセル ボンジョバーニ
Violaine Roussel Bongiovanni さん(フランス・ALT)
ジェンキンス リッキー ジェイムズ
Jenkins Ricky James さん(アメリカ・ALT)
サントス ローエラ レガスピ
Santos Louella Legaspi さん(フィリピン・通訳)
アハメド ファリド
Ahamed Farid さん(パキスタン・自動車販売業)
シェパード サマンサ エリザベス
Shepard Samantha Elizabeth さん(アメリカ・ALT)
シヤオ サオモン
邵 曉猛 さん(中国・技能実習生)
シーバンバン
石 盼盼 さん(中国・技能実習生)





夏サイクリング
夏の爽やかな風を全身で感じながら、吾平町でサイクリングを楽しみましょう。初心者でも走りやすい川沿いの平たんなコースを、パワースポットとして人気急上昇中の吾平山上陵や吾平自然公園で涼を感じながらゆったりと走れます。



※自転車は持参するか、レンタル(別途料金1,500円～、当日払い)かのいずれになります。
※天候によって中止になる場合があります。

涼を求めて 避暑地をぐるり

日時：9月18日(月・祝) 10:00～13:00
集合場所：湯遊ランドあいら (吾平町麓 2973)
料金：3,000円(昼食付)
最大定員：10人 最少定員：2人
※タオル、飲み物を持参

往復約16kmのコースで走った後に、冷たい飲み物やデザートのおいしいおもてなしも。サポートライダーが付き添ってくれるので安心してチャレンジできます。

9つの市と町からなる大隅地域には、歴史や文化、豊かな食が今も大切に残っています。おおすすめ観光未来会議では、8月～10月、地元だからこそ味わえる味覚や、あたたかいおもてなしに出逢える、とっておきの20のプログラムを企画・販売しています。その中から今回は、市内で行われる4つの体験プログラムを紹介します。市外で行われるプログラムについては、県内の観光案内所や道の駅等に置いてある「大隅手帖」又は大隅広域観光開発推進会議のホームページでご確認ください。

- ◎**申込方法**＝「大隅手帖」内の専用紙でFAX又は大隅広域観光開発推進会議ホームページ (<http://oosumi-kankou.com/>) で申込
- ◎**申込期限**＝各プログラム実施日の7日前

☎おおすすめ観光未来会議事務局 (市ふるさとPR課内・2階) ☎0994-31-1176 FAX0994-40-8688

大隅のお母さんをつくる 「だつきしよ豆腐」
大隅地域は落花生の名産地。落花生は鹿児島弁で「だつきしよ」と呼ばれています。以前は各家庭でだつきしよ豆腐が作られていたとか。今回は白水町で「民宿 しろみず」を営む本白水正子(まさこ)さんからだつきしよ豆腐作りを教わります。
まずは、だつきしよの収穫体験から始まります。次に収穫したののだつきしよを使い、早速



もとしろみず
本白水さん直伝の
だつきしよ豆腐作り

調理スタート。だつきしよ豆腐作りのノウハウを教わりましょう。完成したら、民宿でも評判のお母さん手作りの食事と一緒にどうぞ召し上がれ。直伝レシピのメモも忘れずに。



「私の直伝のだつきしよ豆腐。お持ち帰りも可能です！」



日時：9月23日(土・祝) 10:00～12:00
集合場所：民宿 しろみず (白水町 240-1)
料金：3,000円(昼食付)
最大定員：6人 最少定員：2人
※エプロン、三角巾、タオルを持参



お肉屋さんで作る 黒豚ソーセージ

無添加黒豚 ソーセージ作り

安全、安心で美味しい黒豚肉を100%使用した無添加ソーセージ作りを体験。使用する黒豚は、鹿屋の老舗肉屋「三清屋」の自社牧場で、大事に育てられた放牧黒豚。

お肉屋さん直伝のソーセージを作った後は、隣接するバーベキューガーデンへ移動。手作りソーセージや黒豚肉、旬の野菜のバーベキューを楽しめます。



日 時：8月25日(金)、9月16日(土)
いずれも9:00~12:00
集合場所：三清屋 炭焼きバーベキューガーデン
(笠之原町 7357-1)
料 金：3,900円(昼食付)
最大定員：各日20人 最少定員：各日6人
※エプロン、三角巾、タオルを持参

自分で作ったソーセージの美味しさは格別です。畜産王国「鹿屋」ならではの魅力いっぱいプログラム。



「できあがったソーセージは、お持ち帰りできますよ!」

大隅でしか味わえない 夏の思い出を!

とっておきの
プログラム!



名物ガイドと行く

古墳めぐりバスツアー

大隅地域にある古墳時代の貴重な遺物「家嵌装太刀」(鹿屋市)、国指定史跡「塚崎古墳」(肝付町)、「唐仁古墳」(東串良町)、「横瀬古墳」(大崎町)をじっくり巡る歴史たび。

各地域の名物ガイドがバスに同乗し、古墳や古墳にまつわる伝統などを案内します。まるで古代にタイムスリップしたような気分を味わえる「古墳めぐり」体験です。

未だ解明されていない多くの謎があるからこそ、古代に想像を巡らせるのは楽しいもの。歴



※虫刺され予防のため、肌の露出を抑えた服を着用してください。
※「名物ガイドと行く古墳めぐりバスツアー」の募集・受付・催行は、
櫛桜観光が行います。

【申込先】櫛桜観光 ☎ 0994-43-1111 FAX 0994-43-4110

古墳めぐりで太古の ロマンに触れる旅



日 時：8月26日(土)、9月2日(土)
いずれも9:00~15:00
集合場所：串良ふれあいセンター(串良町有里 507-1)
料 金：5,500円(スイーツと弁当付)
最大定員：各日20人 最少定員：各日10人
※タオル、飲み物を持参

女や古墳ガールだけでなく、歴史に興味がある人にもおすすめです。

KANOYA

ピックアップ インフォメーション

Information

～今回の注目情報はこの3つ～

「子育てコミュニケーション講座」の受講者を募集

無理のない子育てのために

18ページ

「鹿屋肝属『職フェス』」参加企業を募集

求職者と企業をマッチング

20ページ

住宅耐震促進補助制度をご利用ください

昭和56年以前の住宅が対象

21ページ



「お口から若返り教室」の受講者を募集

- ◎内容 若さを保つための口腔機能の講話、口腔体操、ストレッチ運動、試食により減塩や摂取量を学ぶ教室
- ◎日時 9月13日(水) 9時45分～12時30分
- ◎場所 市保健相談センター
- ◎対象者 65歳未満の人
- ◎定員 20人(定員になり次第締め切り)
- ◎受講料 無料
- ◎※米1/2カップを持参
- ◎申込方法 直接又は電話
- ◎申込期間 8月21日(月)～9月11日(月)

問 市保健相談センター
☎0994-41-2110

「第2回サイクリングヘルスアップ推進事業」の参加者を募集

- ◎内容 タニタヘルスリンク講師による「タニタの健康セミナー」及び親子サイクリング、体組成計測
- ◎日時 8月27日(日) 10時～
- ◎場所 霧島ヶ丘公園ちやりカフェ裏駐車場

- ◎対象者 自転車を楽しみたい・上手になりたい小学生と保護者
- ※保護者にはロードバイク又はクロスバイクのレンタル有り
- ◎定員 30組(定員になり次第締め切り)
- ◎参加料 無料
- ◎応募方法 電話又は申込書に必要事項を記入のうえFAX
- ※申込書は市民スポーツ課に置いてあるほか、市ホームページからもダウンロード可能
- ◎応募期限 8月23日(水)

問 市民スポーツ課(5階)

☎0994-31-1139
FAX0994-31-1172

「子育てコミュニケーション講座」の受講者を募集

- ◎内容 自分にあつた子育てのあり方を発見し、リラクセスして子育てを行うための「親と子のコミュニケーション術」を学ぶ講座
- ◎日時 9月8日(金)～10月6日(金)までの毎週金曜日 10時～11時30分(全5回)
- ◎場所 リナシテイかのや2階情報研修室
- ◎対象者 市内在住で未就学児を子育てしている保護者

- ◎定員 50人(定員を超えた場合は抽選)
- ◎受講料 無料
- ◎申込方法 直接又は電話、もしくは住所・氏名・年齢・電話番号・講座名・託児希望の有無を記入のうえFAX
- ※託児を希望する場合は、子ども氏名・年齢・性別を記入
- ◎申込期限 8月25日(金)

問 鹿屋市社会福祉協議会

☎0994-44-2951
FAX0994-44-7757

「鹿屋・大隅地域創業スクール」の受講者を募集

- ◎内容 創業・起業に必要な基礎知識を習得するための講習
- ◎日時 10月10日(火)～11月10日(金) 18時～21時
- ※全8回講座
- ◎場所 鹿屋商工会議所
- ◎対象者 鹿屋・大隅地域で創業・起業を目指している人、開業後間もない人 など
- ◎定員 40人(定員になり次第締め切り)
- ◎受講料 8回分5,400円
- ◎応募方法 電話
- ◎応募期限 10月6日(金)

問 鹿屋商工会議所

☎0994-42-3135

「第21回図書館エッセイ
コンテスト」の作品を
募集

◎募集テーマ＝自由

◎募集内容＝市販の原稿用紙に
次の文字数以内で作成

◎小学1～3年生＝1,000
字

◎小学4～6年生＝1,200
字

◎中学生＝1,600字

◎高校生以上・一般＝2,000
字(パソコン入力可)

◎対象者＝市内に居住している
人又は市内に通学又は通勤し
ている人、もしくは市出身者

◎応募方法

○小学生～高校生＝学校名・学
年・氏名・ふりがなを明記し、
各学校を通して応募

○一般＝住所・氏名・ふりがな・
電話番号を明記して、直接来
館又は郵送

◎応募期限＝9月30日(土)

◎その他＝入賞作品(各部門と
も特選・入選各2点)は文集
「かのや文芸」に掲載予定

※応募作品は原則返却不可

問 市立図書館
〒893-0007
鹿屋市北田町11107

☎0994-43-9380

市勤労者交流センター 平成29年度 後期教養講座受講者を募集

番号	講座名(時間)	週	曜日
1	リラックスヨガ(午前)	毎週	月
2	卓球中級(午後)	毎週	
3	生け花入門(夜間)	1・3	
4	手作り楽器「BEAT BAG」(夜間)	1・3	
5	プロに学ぼう!楽しいゴルフ(夜間)	1・3	
6	簡単お菓子作り(午前)	1・3	火
7	初めての絵手紙(午前)	2・4	
8	ノルディックウォーキング(午前)	2・4	
9	手作りパン(午後)	2・4	
10	すこやか太極拳(午後)	2・4	
11	F P 3級取得対策講座(夜間)	2・3	水
12	丹田呼吸法「生命の貯蓄体操」(夜間)	2・4	
13	洋服のリフォーム(午前)	1・3	
14	楽しいアロマ・役立つハーブ(午前)	1・3	
15	健康3B体操(午前)	1・3	
16	親子でリトミック(午前)	2・4	木
17	ポーチ&バッグ(午前)	2・4	
18	手作りパン(午前)	2・4	
19	楽しい編み物(午後)	2・4	
20	リラックスヨガ(夜間)	毎週	
21	ボールペン字&筆ペン字(夜間)	1・3	金
22	バドミントン入門(夜間)	毎週	
23	バドミントン(午前)	毎週	
24	パッチワーク・キルト(午前)	1・3	
25	スタンドグラス(午前)	2・4	
26	民謡(午後)	2・4	
27	楽しく卓球(夜間)	1・3	
28	マットピラティス(夜間)	2・4	
29	初めての着付け(夜間)	2・4	
30	コアリズム(午前)	1・3	
31	エコクラフト(午前)	1・3	
32	季節の家庭料理(午前)	1・3	
33	親子ふれあい教室(午前)	2・4	
34	トールペイント(午前)	2・4	
35	卓球入門(午後)	毎週	
36	初めての着付け(午後)	1・3	
37	いおりんのおうちde居酒屋(午後)	2・4	
38	バドミントン中級(夜間)	毎週	

- ◎内容
初心者向けの各種教養講座
- ◎期間
10月～平成30年2月頃までの全8回
※No.22のみ12月から開始
- ◎時間
○午前＝10:00～12:00
○午後＝13:30～15:30
※No.10のみ13:00～15:00
○夜間＝19:00～21:00
- ◎対象者
市内に居住又は勤務している人
- ◎受講料 1講座1,000円(全8回分)
※納入された受講料は返納不可
※保険料(任意)・材料費は実費
- ◎応募方法
直接来館又は電話、もしくは氏名・ふりがな・性別・
年齢・住所・電話番号・託児の有無・子どもの名前と
生年月日・希望講座名を記入のうえ、メール又はFAX
- ◎受付時間 平日8:30～17:00
- ◎応募期限 9/8(金)
- ◎その他
○1歳半～6歳(未就学児)の子どもについては託児可能
※2歳以下の子どもは条件有り
※託児は、1人800円の年間保険料が必要
○応募者が多数の場合は抽選
○応募者が少数の場合、開講できない場合有り
○かのやハッピーワーク会員は、助成制度有り



問 市勤労者交流センター ☎・FAX 0994-44-9088 kinrokoryu@zenkei.jp

県立鹿屋高等技術専門
校の入校生を募集

- ◎募集学科 電気設備科
- ◎受験資格 高校卒業業者(見込みを含む)又は同等以上の学力を有すると認められる人
- ◎定員 20人
- ◎試験日 11月2日(木)
- ◎試験会場 鹿屋高等技術専門学校
- ◎試験方法 総合問題の筆記試験、面接
- ◎申込方法 写真を貼付した入校願書、学校調査書、縦4cm×横3cmの写真1枚(受験票用)、2,200円分の県収入証紙を直接持参又は郵送



▲同校の生徒たち

- ◎申込期間 9月1日(金)～10月25日(水)
- ◎その他 9月20日(水)、10月16日(月)の13時30分～15時にオープンキャンパス有り

☎0994-4418674

鹿屋高等技術専門学校

防衛大学校学生・陸上
自衛隊高等工科学校
生徒を募集

◎募集種目、受験資格等

募集種目	受験資格	申込期間(締切日必着)	1次試験期日
防衛大学校学生	推薦	9/5(火)～7(木)	9/23(土・祝)・24(日)
	総合選抜		9/23(土・祝)
	一般(前期)	9/5(火)～29(金)	11/4(土)・5(日)
	一般(後期)	1/20(土)～26(金)	2/17(土)
陸上自衛隊高等工科学校生徒	推薦	11/1(水)～12/1(金)	1/6(土)～8(月・祝)の間のいずれか1日
	一般	11/1(水)～1/9(火)	1/20(土)

◎申込方法 募集要項、志願票、受験票を自衛隊鹿屋地方協

力本部鹿屋地域事務所に請求し、必要事項を記入のうえ提出

自衛隊鹿屋地方協力本部鹿屋地域事務所
☎0994-4214386

「鹿屋肝属『職フェス』2017」地元企業と人をつなぐ」の参加企業を募集

◎内容 様々な求職者と企業のマッチングを支援する合同企業説明会での、求職者に対する企業のPRブース出展

※物販は不可
◎日時 9月16日(土) 12時～17時

◎場所 リーナシティかのや3階フィットネスホール

◎参加料 無料

◎応募方法 電話

◎応募期限 8月20日(日)

※応募者多数の場合は抽選

鹿屋肝属法人会青年部会

☎0994-4419811



「ノルディックウォーキング教室」の参加者を募集

◎内容 健康づくりに関心のある人や健康づくりに従事している人を対象としたノルディックウォーキング教室

◎日時 9月30日(土) 13時30分～16時

◎場所 鹿屋体育大学講義棟101講義室及びキャンパス内

◎定員 40人(定員になり次第締め切り)

◎参加料 無料

※別途保険料が必要

◎応募方法 住所・氏名・年齢

性別・電話番号・メールアドレス・職業を記入のうえ、メール又はFAX

◎応募期限 9月22日(金)
鹿屋体育大学生涯スポーツ実践センター
☎・FAX 0994-4615311
lifelong@nifs-kac.jp



▲2本のポールを使って歩くノルディックウォーキング

嘱託職員を募集します

募集職種	健康づくり事業推進員(保健師)	歯科衛生士
業務内容	健康づくりの推進、健康づくりボランティア育成、各種免許交付申請受付・感染症予防に関する事務 など	歯科保健業務
募集人員	1人	1人
雇用期間	平成29年11月1日(水)～平成30年3月31日(土)	
勤務場所	市保健相談センター(保健指導や訪問指導など地域外勤務有り)	
勤務日	週5日勤務	
就業時間	原則として8:30～17:00	
賃金	月額176,200円 ※厚生年金、社会保険・雇用保険に加入	
必要な資格など	保健師、パソコン操作、普通自動車免許	歯科衛生士、パソコン操作、普通自動車免許
選考方法	面接 ※面接日時は申込受付時に連絡	
申込方法	市販の履歴書に必要事項を記入し、写真を貼り付けて持参又は郵送	
申込期間	8/14(月)～8/31(木)	

市保健相談センター

〒893-0007 鹿屋市北田町11-6 ☎0994-41-2110

お知らせ

海区漁業調整委員会委員選挙人名簿の登録申請について

平成29年度海区漁業調整委員会委員の選挙人名簿を作成します。この選挙人名簿に登録されないと、選挙の際に投票することができません。対象者はぜひ申請してください。

◎対象者 以下のすべての条件を満たす人

○18歳以上の人(平成11年12月6日までに生まれた人)

○市内に住所又は事業場のある人

○1年に90日以上、漁船を使用する漁業を営む人又は漁業者のために漁船を使用して行う水産動植物の採捕もしくは養殖に従事する人

◎申請方法 市選挙管理委員会事務局、高須出張所、花岡出張所、市漁業協同組合のいずれかに申請書を提出

※申請書は各提出先で配布
◎申請期間 9月1日(金)～5日(火)

問 市選挙管理委員会事務局(5階)

☎0994-31-1142



住宅の耐震促進補助制度をご利用ください

市では、耐震基準が見直された昭和56年5月以前に建築された住宅の耐震診断・耐震改修工事への補助を行っています。

阪神淡路大震災や平成28年熊本地震などでは、旧耐震基準住宅の多くが倒壊など大きな被害を受けました。耐震診断のみの補助も行っていきますので、ぜひご利用ください。

◎耐震診断費補助率 費用の3分の2(上限10万円)

◎耐震改修工事費補助率 費用の40%(上限82万2千円)

◎簡易耐震改修工事補助率 費用の1/3(上限40万円)

※条件を満たせば、別にリフォーム補助金(上限30万円)も利用可

問 市建築住宅課(4階)

☎0994-31-1129



▲地震で倒壊した家屋

がけ地近接等危険住宅移転事業費を助成します

◎内容 かけ下等の危険区域に建つ住宅の移転促進のため、住宅の解体・除去に要する経費や、新たに住宅を建設・購入する際の経費の一部を助成

◎対象要件 以下のすべての条件を満たす住宅
○がけの高さが2mを超え、勾配が30度を超えるがけに近接する住宅

○昭和46年8月31日以前に建築された住宅

○現に居住している住宅で、平成29年度中に移転できること

◎補助額

補助対象経費	補助限度額
危険住宅の解体・除去に要する経費	80万2千円
危険住宅に代わる住宅の建設・購入のため、金融機関等から融資を受けた場合の借入金の利子相当額(年利8.5%限度)	住宅建設費 457万円 土地取得費 206万円 敷地造成費 59万7千円

◎申請方法 電話で問い合わせ

◎申請期限 9月29日(金)
※予算額に達し次第締め切り

※来年度の事前相談も可能

問 市建築住宅課(4階)

☎0994-31-1129

ピンクリボン啓発イベント「JMS in かのや」

JMS(ジャパン・マンモグラフィ・サンデー)とは、子育て・介護・仕事などで忙しく、平日に病院に行けない女性が、日曜日に乳がん検診を受けられるよう、毎年10月第3日曜日に乳がん検診を受診できる環境づくりへの取り組みで、次のとおり講演会と検診を実施します。

問 市保健相談センター ☎0994-41-2110

講演会「知っておきたい!乳がんのこと」

- ◎内容 「乳がん早期発見のポイント」「乳がん体験者からのメッセージ」「12月の集団検診・検診イベントの紹介」
- ◎講師 相良病院 理事長 相良 吉昭氏 など
- ◎日時 10/14(土) 10:00～12:00
- ◎場所 市保健相談センター
- ◎対象者 市内在住の人
- ◎定員 150人(定員になり次第締め切り)
- ◎参加料 無料
- ◎申込方法 直接又は電話
- ◎申込期間 9/6(水)～10/13(金)

予約制乳がん検診

- ◎内容・料金
- | 検診 | 対象年齢・料金 | |
|--------------|---------|-------------|
| 問診・マンモグラフィ検査 | 40歳～49歳 | 1,000円(2方向) |
| | 50歳以上 | 500円(1方向) |
| 超音波検査 | 全年齢 | 4,500円 |
- ◎日時 10/15(日) 9:00～12:00
 - ◎場所 市保健相談センター
 - ◎対象者 市内に在住の女性
 - ◎定員 70人(定員になり次第締め切り)
 - ◎申込方法 次の申込先に電話又はホームページから申込
 - 申込先 博愛会 健診事業部 相良病院
☎099-224-1821 <http://www.sagara.or.jp>
 - ◎申込期間 9/6(水)～9/13(水)



▲予約サイトQRコード

「若けもん元気度アップ」ポイント事業のポイントを還元します

市民の健康づくりを推進するための「若けもん元気度アップ」ポイント事業のポイント保有者に対し、物品又は現金を還元します。対象者は申請してください。

◎日時 9月1日(金) 9時～16時
(金の平日 9時～16時)

◎場所 市保健相談センター

◎対象者 市内に在住する20歳～64歳のポイント事業参加者で、5ポイント以上の保有者

◎申請方法 印鑑(シャチハタ不可)及びポイント手帳(市指定のスタンプが押印又はシールが貼付されたもの)を直接持参

問 市保健相談センター

☎0994-41-2110



▲ポイント手帳

相談

法律なんでも相談

◎内容 事業上の金銭貸借・事業承継による相続問題など、弁護士による法律相談

◎日時 8月21日(月) 13時

30分～16時30分
※1人あたり30分

◎場所 鹿屋商工会議所1階相談室

◎定員 5人(定員になり次第締め切り)

◎相談料 3,240円

※鹿屋商工会議所会員は1,080円

◎申込方法 電話

問 鹿屋商工会議所

☎0994-42-3135

不動産無料相談会

◎内容 不動産の売買等に関する無料相談会

◎日時 9月8日(金) 13時～16時

◎場所 県宅地建物取引業協会 大隅支部(札元2丁目)

問 鹿児島県宅地建物取引業協会 大隅支部

☎0994-43-0436

イベント

市役所ロビーコンサート

◎内容・日時

日時	イベント
8/25(金) 12:20～12:50	かまだ とうたろう さんと 鎌田 鴻太郎 (バイオリン) 弦楽アンサンブル アルダージョ
8/29(火) 12:20～12:50	てつか ようこ さんと 手塚 洋子 (メゾソプラノ) とコールいろいろは (合唱)

◎場所 市役所1階市民ホール

◎料金 無料

問 市生涯学習課(6階)

☎0994-31-1138



▲昨年のコンサートの様子

勤労者交流センター 講座体験DAY

◎内容 郷土菓子作り、ワイヤークラフト作り、苔玉作り、ベビーマッサージなどの体験イベント

※体験イベントは事前予約も可
◎日時 9月2日(土) 10時～15時

◎場所 市勤労者交流センター

◎参加料 無料

※材料費は自己負担

問 市勤労者交流センター

☎0994-44-9088



鹿屋市家庭教育講演会

◎内容 子育てに関する講演会

◎演題 「現代における子育ての、難しさとやりがい」

◎講師 岡崎 光洋氏(くまもと心理カウンセリングセンター)

◎日時 9月3日(日) 10時～12時

◎場所 リナシティかのや3階ホール

◎入場料 無料

※手話通訳あり

※託児(2歳～6歳を希望する人は、事前に電話)

問 市生涯学習課(6階)

☎0994-31-1138

映画「みんなの学校」上映会

◎内容 様々な事情を抱える子どもたちが安心して通える学校を目指して、教師・生徒・地域住民が支え合う姿が描かれた、大阪市の小学校が舞台のドキュメンタリー映画

◎日時 9月3日(日) 13時

30分～15時20分・18時30分～20時20分 ※2回上映

◎場所 リナシティかのや3階ホール

◎入場料

◎前売券

大人 1,000円

小学生～高校生 500円

※前売券は、問い合わせ先まで電話で申込

◎当日券

大人 1,200円

小学生～高校生 700円

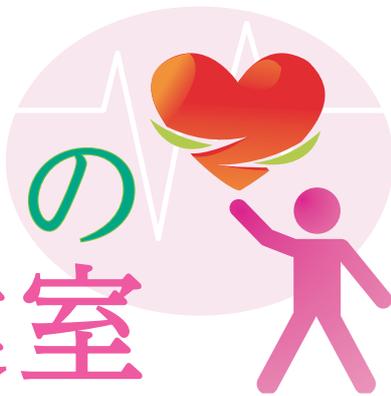
問 鹿屋「みんなの学校」上映会プロジェクトチーム(坂元)

☎090-9585-8518



Health Care

まちの 保健室



◎食生活改善推進員 (84人)

「食生活」に関する正しい知識の普及、生活習慣病予防の料理教室や親子料理教室等の開催 など

◎母子保健推進員 (48人)

母子に関する様々な情報提供や育児に関する相談、母子健診や健診未受診者への受診勧奨 など

問 市保健相談センター ☎ 0994-41-2110

あなたの健康づくりをサポートする ボランティアを紹介します

健康づくりには、個人の取り組みや心がけだけでなく、「健康を支援する環境づくり」も必要です。

皆さんの健康づくりの手伝いをするボランティアと、その主な取り組みを紹介します。(カッコ内は市内の人数)

◎健康づくり推進員 (172人)

健診の受診を勧める活動、市が実施する健診・地域のサロン活動の支援 など

◎ストレッチウォーキングアドバイザー (36人)

「運動」に関する情報提供や知識の普及、運動実践を通じた健康づくりの支援 など

健康づくり活動で表彰!

昨年「鹿屋市食生活改善推進員連絡協議会」が、鹿児島県における健康づくり活動の推進に多年にわたり寄与した団体として、鹿児島県国民健康保険団体連合会から「健康づくり推進永年活動団体表彰」を授与されました。



▲鹿屋市食生活改善推進員連絡協議会の皆さん

8月・9月 休日救急当番医・歯科休日急患在宅医



鹿屋市医師会		診療時間 8:30 ~ 18:00	
月 日	医療機関	住 所	電話(0994)
8月 20日	㊦中塩医院	西原1丁目	43-2489
	㊧えとう小児科	札元2丁目	40-3700
	㊨村上整形外科医院	今坂町	41-2511
27日	㊩森田胃腸科内科医院	郷之原町	40-2822
	㊪こだま小児科	笠之原町	41-5111
	㊫そえじまクリニック	旭原町	41-6800
9月 3日	㊬みやぞのクリニック	田崎町	40-4600
	㊭やのファミリークリニック	寿4丁目	43-6248
	㊮鮫島整形外科病院	寿1丁目	43-2535
10日	㊯鹿屋ハートセンター	札元2丁目	41-8100
	㊰おひさまこどもクリニック	新川町	42-7822
	㊱徳田脳神経外科病院	打馬1丁目	44-1119
17日	㊲池田病院	下祓川町	43-3434
	㊳まつだこどもクリニック	西原2丁目	52-0507
	㊴池田病院	下祓川町	43-3434
18日	㊵おばま医院	寿2丁目	42-5235
	㊶まつだこどもクリニック	西原2丁目	52-0507
	㊷小林クリニック	上谷町	41-0700

肝属東部医師会		診療時間 9:00 ~ 17:00	
月 日	医療機関	住 所	電話(0994)
8月 20日	入佐内科	吾平町麓	58-7006
	岩重医院	東串良町川東	63-8514
27日	高山胃腸科・外科	肝付町前田	65-7171
	黎明脳神経外科医院	串良町上小原	63-7878
9月 3日	春陽会中央病院	肝付町新富	65-1170
	花田整形外科・リウマチ科医院	串良町有里	63-1379
10日	山内クリニック	肝付町前田	65-8181
	内村産婦人科	串良町岡崎	63-2521
17日	ルミコ医療ステーション	肝付町新富	65-0921
	新中須医院	東串良町池之原	63-2010

鹿屋市歯科医師会		診療時間 9:00 ~ 15:00	
月 日	医療機関	住 所	電話(0994)
8月 14日	重久歯科医院	向江町	42-4470
15日	さかもと歯科クリニック	寿8丁目	44-2003
20日	ひらおか歯科	新川町	41-3060
27日	ひらたデンタルクリニック	札元1丁目	45-4929
9月 3日	水口歯科医院	寿2丁目	43-4635
10日	吉留歯科医院	旭原町	42-3708
17日	あおぞら歯科	西原1丁目	36-5688
18日	あさい歯科	笠之原町	41-5100

◎大隅肝属地区消防組合テレホンサービス

☎ 0994-43-0119

平日/午後5時から夜間救急当番医を案内

※ただし、火災発生時は一時火災情報に変わります。

休日/休日救急当番医及び歯科休日急患在宅医を案内

※休日救急当番医及び歯科休日急患在宅医は変更になることがあります。各医療機関にご確認のうえ受診してください。

※休日救急当番医の診療は、急病に対する処置ですので、翌日はこちらつかけの医師などの診療を受けてください。

原則として、投薬期間は通常1日分とします。

つながるひろが

市民のひろば

まちの語り場

ちょっと困っていることがあるんだけど…

お気に入りの場所を見つけました!!

これを取材して!!

誰かに聞いてほしい話があります…



7月

月に凱旋ライブを鹿屋で開催した2人組ユニット、C&K。彼らが紅白歌合戦に出場経験のないことに正直な気持ち驚いている私ですが、今年は初出場に向けて大きく前進する出来事が4月に起きました。NHK福岡のラジオ番組をレギュラーで担当することが決まったのです。番組名は「がめにラジオ」。福岡ローカル放送ですが、アプリ(NHKラジオらじるらじる)で応援していきます。(くろやんさん・39歳・男性)

お便りありがとうございます。ご存知のとおり「C&K」の2人にはかのやばら大使として、市のPRをしていただいています。7月8日には市文化会館でライブが開催され、多くのファンの皆さんが全国から鹿屋へお越しいただきました。また、10月14日には霧島ヶ丘公園で野外ライブが開催されることとなっております。今年こそはNHK紅白歌合戦初出場が実現されるよう、みんなで応援していきたいです。ラジオ番組の情報、ありがとうございます。応援の輪が広まって、素敵な大晦日おほみそかを迎えられることを心から祈ります。

鹿

児島市内より引越して来て、鹿屋生活楽しんでます。学校にクーラーが無い所があるのにびびりしました。この暑い中、子ども

の体温で学級の室内は蒸し風呂、そんな環境の中で集中できるのか疑問です。これからの鹿屋の未来を支えてくれる子どもたちのために、しっかりとした環境の整備をお願いします。(まーさん・47歳・女性)

ようこそ鹿屋市へお越しくださいました。平成29年4月1日現在、全国普通教室空調設置率は49.6%、鹿児島県は35.8%です。鹿屋市は、小学校24校中19校、中学校12校中8校に設置しており、その設置率は75%です。小中学校の空調については、ご指摘のとおり未設置の学校もあります。今後も、児童生徒の健康管理や良好な教育環境を確保するため、計画的な整備に努めてまいります。

ブルービー

(幸せを呼ぶハチ)を探しに、先日、ダマスクの風に入主人と共にきました。沢山のダリアも、種類や色が違って、とてもきれいでした。モンシロチョウやアゲハチョウやミツバチやハナムグリもいて、主人がとても喜んでいました。ブルービーも見つけることができ、夢中になり、2人で写真を撮ったり、動画を撮ったりしました。自然の恵みがいっぱい、童心に帰れて嬉しかったです。(さとみさん・52歳・女性)

お便りありがとうございます。お手

紙から、お2人で楽しまれた様子が伝わってきました。「ダマスクの風」は1年を通して約3千種もの花が栽培されているということで、いつ訪れても私たちが十分楽しませてくれると思います。これからもぜひ、ダマスクの風へお出かけください。そして、思う存分自然のパワーを感じてください。

ご

近所の独居老人の方が、認知症ではないか?と思う行動をされます。認知症を疑って検査訪問の基準は何で決められておられるのでしょうか?(おせつかいおばさん・62歳・女性)

認知症の人に対しては、市地域包括支援センターを中心に支援させていただいております。認知症の検査訪問については、地域からの情報等に基づき訪問を行い、認知症と疑われる場合は、必要な支援を行ってまいります。また、早期の対応が必要と判断した場合には、認知症初期集中支援チームにおいて介護サービスや医療につなげるために集中的に支援していくこととなります。高齢者が住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らすためには、地域の見守りがとても大切です。今後ともご協力くださいますようお願いいたします。また、認知症に関する相談については、随時、市地域包括支援センター(☎0994-45-6969)で対応しておりますので、お気軽にご相談ください。



かのや活動レポート

vol.23

地域おこし協力隊になって2年目となりました。今年は4月からCiel Bleu鹿屋の高宮監督や上野みなみ選手と一緒に、市内の小・中学校で交通安全教室を行いました。



自転車の正しい乗り方や安全な管理方法の指導などを通じて、元気いっぱい子どもたちと触れ合うことができ、私たちもパワーをもらいました！

今年の夏は、かのや夏祭りでの街中パレードや、親子サイクリング、砂浜ビーチレースなど、自転車イベントが盛りだくさんとなっています！皆さん、ぜひご参加ください！

木下 菜菜 隊員
今回の報告者



市民のひろばにお便りをくださった方の中から

サンシャイン池崎さんと前園真聖さんのお2人のサイン色紙をプレゼントします。

7月に放送されたKTS鹿児島テレビ「前園真聖の鹿児島ぶらり～空前絶後の鹿屋グルメ旅～」の収録のために市内を訪れた、現在大ブレイク中の鹿屋市出身のサンシャイン池崎さんと、元Jリーガーの前園真聖さんのお2人のサイン色紙を3名様にプレゼントします。収録日には母校・鹿屋高校にも訪れ、話題になりました。

応募×切 9月12日(火曜日)

※当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。



KTS鹿児島テレビ「前園真聖の鹿児島ぶらり」KTSが不定期に制作・放送している前園真聖さん(薩摩川内市出身)の冠番組。毎回ゲストを迎え、鹿児島各地をぶらり旅し、地元の良さを再発見する番組です。7月の放送では、サンシャイン池崎さんが鹿屋市を大きくPRしてくださいました。

お手数ですが
62円切手を
お貼りください

8 9 3 - 8 5 0 1

No.279

鹿屋市役所 政策推進課

広報かのや Kanoya 「市民のひろば」係 行

お名前／ふりがな

電話番号

ペンネーム ※未記入の場合、イニシャルで掲載します

年齢／性別

歳 男 ・ 女

ご住所 □□□-□□□□

プレゼント

要 ・ 不要

市民の皆さんからの

お便りを
募集しています



広報誌への感想や、市へのご意見のほか、地域のイベントや出来事、お勧めスポットなど多くの情報もお寄せください。お便りをいただいた方の中から、抽選で特産品等をプレゼントしています。たくさんのご応募をお待ちしています！

※掲載時に、原稿の一部を手直しする場合もございます。

〒 893-8501 鹿屋市共栄町 20-1
市政策推進課
「市民のひろば」係
☎ 0994-31-1123

大人の 社会見学

鹿屋の地で育まれた
名品・名産・名所などの
よかもんをご紹介します

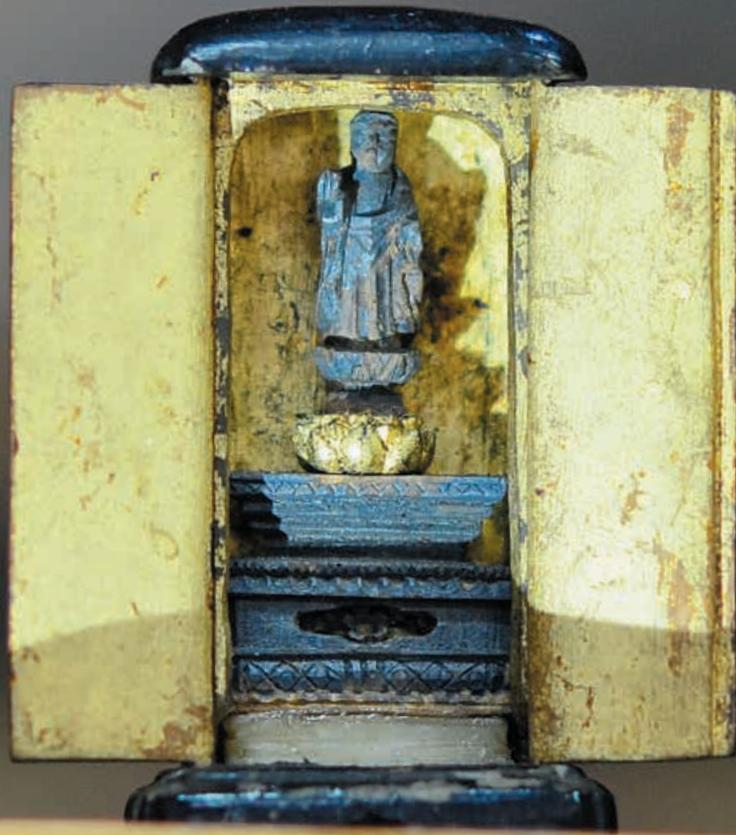
花岡町花岡山 はなおかざん
浄福寺の小型
阿弥陀如来尊像 あみだにょらいそんぞう



花岡山浄福寺
花岡町4043
☎0994-46-2136



ナビゲーター
花岡山浄福寺住職 藤園智信さん ふじそのとものぶ



花岡町の浄福寺に、非常に小さい仏像が安置されていることをご存知でしょうか。今回は浄福寺住職の藤園智信さんに、市指定文化財「花岡町花岡山浄福寺の小型阿弥陀如来尊像」について紹介いただきました。

「浄福寺に安置されている小型の仏像とは『阿弥陀如来尊像』。阿弥陀如来とは、浄土真宗では『本尊』とされているものです。この仏像は、高さ約1.7cm、幅約0.4cmの非常に小さい木像で、蓮台の上に立ち、



仏像(中央下)とその由緒が書かれた紙



「花岡島津氏歴代墓地」内にある
島津時子の墓

手や足、顔の表情も精巧に彫られています。また仏像は、高さ約4cm×幅約1.8cm×奥行き約1cmの、2枚扉の開き戸が付いた『厨司』と言われる箱に大事に収められています。

これは文政7年(1824年)、花岡島津家6代の島津久誠の妻・時子が、生家の日置島津家から花岡に嫁ぐ時に、両親から渡されたものと伝えられている仏像です。

江戸時代、薩摩藩では一向宗(浄土真宗)の信仰が禁止され、取り締まりも大変厳しいものですが、隠れて信仰する人も数

多く、県内各地に『隠れ念仏』に使われたという史跡や道具が残っています。つまりこの仏像は、藩主島津家の一族が、一向宗禁制の時代にあっても密にかつ熱心に信仰していたことを示す貴重な物なのです。

明治37年、時子の死後まもなくして、孫の久實はこの仏像を浄福寺に寄贈しました。その際、仏像とともに、その由緒が書かれた紙も添えられました。

紙には、『此の仏像は祖母島津時子生前中の持仏にして朝夕礼拝を怠らざりし事を思ひ五十日の忌を過ぐる後に花岡山浄福寺住職藤園師へ託し同寺に贈る物也 明治三拾七年四月十六日 源島津久實(原文のまま)とあります。花岡島津家の遺品が、こうして花岡の地に残されていることは大変素晴らしいことです。ぜひ皆さんも参拝いただきたいと思えます」

テレビで全国放映されました!

小さなお葬式

加盟店 **家族葬の池田屋**

24時間対応 ☎ 0994-44-4440
☎ 0120-41-8844

田崎斎場 鹿屋市田崎町108
バイパス斎場 鹿屋市大浦町14042-8 株式会社 Ligare



求人募集 大型ドライバー

大隅一円から大型トラックで生鳥(鶏)を鹿児島くみあいチキンフーズ大隅工場へ輸送する仕事です。

勤務時間:
①23:00~8:00(休憩60分)
②3:00~12:00(休憩60分)
休日:1ヶ月8日~9日
(休日出勤が月1~3日程度あります)
職制:
2ヶ月間試用期間となり試用期間終了後準社員となります。
※準社員一年後正社員登用あり

日給 **11,720円~**
5,720円+5,000円+1,000円+(残業手当)+
(休日出勤手当)+諸手当有り

※準社員給与
総支給 **25万円~31万円**
★各種保険有り

園田陸運株式会社 鹿屋営業所(チキン部)
〒893-0015 鹿屋市新川町520
☎0994-44-0150 採用担当/戸越



ご注文の流れ

- ①文字原稿・お写真をご用意ください。
プリント写真・SD・USB・CD
メールでもOKです。
✉E-mail:kan@shinsei-p.co.jp
- ②マグカップのサイズをお選びください。
2種類をご用意しています。
- ③お預かりした原稿を元に作成します。
- ④写真・文字を確認。 **出来あがり前を確認できます!!**
- ⑤マグカップ出来上がり!!

オリジナルマグカップ 1個からご注文できます!!



お気軽にお問い合わせください



鹿児島県鹿屋市礼元1-22-34
☎0994-43-2238

パート・アルバイト 急募!

《作業内容》ごぼう・さつまいも加工作業
《期間》8月~

※詳細は電話でお問い合わせください。作業時間応相談



(有)迫田商店 鹿屋市串良町有里8143番地
☎0994-62-3424

たくさんの思い出を
ありがとうございます。

一緒に過ごしてきた
家族だから感謝の気持ちを
込めてお見送り。

http://kanoya-pet.com/

ペット葬祭・霊園
夢眠
むーみん

お問い合わせ・ご相談は
☎0994-45-3400
〒893-0132 鹿児島県鹿屋市下高隈町6000-7(きもつき宛手前)
(有)池田大仏堂グループ

皆様の「あったらいいな」をかたちにしました!

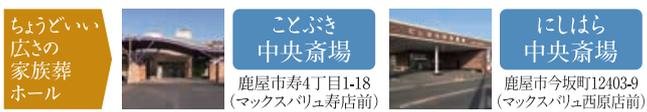
費用を抑えながらも充実内容のプラン

通夜・葬儀もきっちり行い、必要なサービスもすべて含んだ家族葬のプランをご用意いたしました。

親戚や友人を交えて送る **家族葬**

158,000円 (税別)より

通夜・葬儀でのお食事や飲み物をはじめ、供花・供物やお返し物の持ち込みも当社では無料です。



●家族葬のご依頼・ご相談は

心を尽くし、心を動かす。
池田葬祭
ikeda sousai

つむぐ ころろ
☎0120-269-556
鹿屋市王子町3967-3(バイパス沿い)

365日
24時間
受付!

広告のひろば

(株)新生社印刷
☎ 0994-43-2238

広告のひろばは、各事業所の広告を掲載することで、市民の皆さんへの情報提供を目的としています。また、市の自主財源確保の一環として行っています。広告に関するお問い合わせは、印刷会社、市政推進課になります。お気軽にお問い合わせください。